

# まんがの方法(5年)

求める喜び……おもしろさのひみつを考えよう

## 学習材の目標

まんがをおもしろくしている方法について、内容や要旨を把握しながら読む。  
書かれている内容について事象と感想、意見の関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読む。  
目的に応じて、文章の内容を的確におさえながら要旨をとらえる。

## 学習材について

まんがはおもしろい。まんがは楽しい。だからまんがを読みたい。子供たちは「まんが」と聞いただけで興味をもっていく。まんがというのは学校の外のものであり、国語の教科書とは相反するものであるという感覚が子供たちにはある。それが「まんが」という言葉とともにページをめくると興味をひくまんがが登場している。

本学習材では、まんがを単なる興味や関心の対象として取り上げるのではなく、まんがそのものの表現方法をわかりやすく解説している。今まで何気なく読んでいたまんがに多様な表現の工夫がなされていたという発見を読み手に与え、改めてまんがの楽しみ方を示唆してくれる。

まんがは子供たちにとって身近な教材であるので、興味をもって読み進めていくことと思われる。

ここでは興味関心のみで読ませるのではなく、文章の構成、論理的な展開をきちんと読み取らせていきたい。その結果、今までとは違った角度からまんがに触れ、単元の後半(「読書の広場」)へと進ませていきたい。

展開・時	学習活動	留意点
第1次 7	<p>単元全体の内容を知り、学習計画を立てる。</p> <p>今まで読んできたまんがについて話し合う。</p> <p>筆者の「まんがの方法」の定義を確認する。</p> <p>それぞれの「まんがの方法」をまとめる。</p> <p>どのようにおもしろさを生み出しているのかをまとめ、話し合う。</p> <p>全体の文章を読み、感想を発表し合う。</p> <p>「また」の使い方を理解し、二つの内容をつなぐ言葉について考える。</p>	<p>扉の挿絵のまんがについて発言し、意欲づけをする。</p> <p>読んだことのあるまんがについて経験をふまえながら自由に発表させる。</p> <p>段落を中心に、おもしろさの表現方法を意識させる。</p> <p>今まで気づかなかったこと、思ったことを発表させる。</p> <p>接続語を短文作りをとおして確認する。</p>
第2次 6	<p>自分のテーマを決める。</p> <p>テーマに沿って取り組みの計画を立てる。</p> <p>計画にしたがって資料を集める。</p> <p>必要な資料を選び、整理する。</p> <p>発表内容をまとめたり、発表資料を作る。</p> <p>発表会を行う。</p>	<p>おもしろさについて調べたり、考えたりしていくことを確認する。</p> <p>資料集め 整理 発表の流れをおさえる。</p> <p>図書室・インターネットなどで調べる。</p> <p>発表メモを作り、発表の要点の確認をする。</p> <p>「おもしろさのひみつ」についての認識を深める。</p>

## 本時の展開(本時4 / 13)

### 目標

- ・全文を読み、筆者の考える「まんがの方法」の定義とその具体例を確認することができる。
- ・「まんがの方法」の具体例に線を引くことができる。

学習活動	留意点
1. 「まんがの方法」の全文を読み、感想を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一段落を読み、筆者の問題提起を確認する。</li> <li>・「おもしろさのひみつは、どんなところにあるのでしょうか」の文の中に学習のもとがあるので、児童の経験も発表させたい。</li> <li>・全体のあらましをとらえるため、どのようなことが書かれていたか発表させる。</li> <li>・形式段落に番号をつけ、段落にあることを確認する。</li> <li>・第一次感想をノートにまとめ、発表させる。 初めて知ったこと。 知っていたこと。 もっと知りたいこと。 書き方について気づいたこと。</li> </ul>
2. 筆者は「まんがの方法」をどのようなものとしてとらえているか、本文をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まんがの方法」について述べている段落を指摘させ、どのようなことが書いてあるかまとめる。(段落)</li> <li>・ストーリーまんがについて調べていくことを知る。</li> </ul>
3. 「まんがの方法」の具体例を見つける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・～段落を読み、「まんがの方法」の具体例をさがし、実線を引かせる。</li> <li>・実線を引いたところを発表させる。</li> </ul>
4. 次時は、具体的な「まんがの方法」についてまとめていくことを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線を引いたところを確認し、次時は詳しくまとめていくことを伝える。</li> </ul>
<b>本時の評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想をノートにまとめることができたか。</li> <li>・「まんがの方法」の具体例に線を引くことができたか。</li> </ul>	

## 本時の展開(12 / 13)

### 目標

- ・集めた資料をもとにしながら発表メモをかくことができる。
- ・発表の仕方を効果的に工夫することができる。

学習活動	留意点
1. 前時を振り返り、本時の学習の目あてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に作った資料をもとにしながら、本時は発表メモを作り、練習をしていくことを確認し合う。</li> </ul>
2. 発表内容を考え、原稿を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おもしろさのひみつ」についての発表原稿を書く。</li> <li>・発表時間2分くらい。300字程度の文を書く。</li> <li>・発表用なので、一文は短く、文末をはっきり書かせる。</li> <li>・発表原稿をメモに作りかえてみる。要点を再確認し、発表メモに書き換えさせる。</li> </ul>
3. 発表資料を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手によりわかりやすく伝えるためには、見てわかるものがあればよいことに気づかせ、資料を作らせる。</li> <li>・絵・OHP 資料を実際に書き、説明に使用できること。</li> <li>・実物投影機 実物を使い、説明時に使用できること。</li> <li>・用紙や機材は事前に準備する。</li> </ul>
4. 発表練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備が終わった児童から、発表メモを見て、発表の練習をさせる。(発表原稿は使わない)</li> </ul>
<b>本時の評価</b> 意欲的に発表の準備をしているか。	

について

発表内容の要点をまとめるのに効果的である。発表時は、原稿を見ないで発表メモを使って発表をさせると、文を読む発表にならない。また、一度原稿を書いているため、内容はわかりやすい。しかし、この作業を入れると資料作りへ入るまでに時間が必要になる。